

学校関係者評価報告書

【評価対象期間】 自：2024 年 4 月 01 日
至：2025 年 3 月 31 日
【評価基準日】 2025 年 4 月 01 日

学校法人ハリウッド美容専門学園
ハリウッドワールド美容専門学校

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	- 2 -
	1. 学校関係者評価の目的と基本方針	
	2. 学校関係者評価委員名簿	
	3. 学校関係者評価委員会の実施状況	
	4. 学校関係者評価委員会の実施方法	
	5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方	
II	学校関係者評価委員会報告	- 3 -
	1. 重点項目について	
	2. 基準項目について	

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

- ① 卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、ハリウッドワールド美容専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属（役職）
業界関係者	中山友久	タカラベルモント株式会社（九州営業部部長） （代理出席）
地域住民	内村秀樹	学生寮オーナー会（会長）
地域住民	松浦文人	株式会社マツウラ（代表取締役社長）
地域住民	金縄保守	柳川商工会議所（専務理事）

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2025年6月14日（土）17：30～18：30

場 所：ハリウッドワールド美容専門学校 本校舎2階（会議室）

4. 学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者委員の皆様、2024年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見を頂く。

5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2024 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

II 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

《学校の取り組み状況》

今年度、本校は理容国家資格試験の合格率 100%、ならびに就職希望者の就職率 100%を達成し、教育目標を着実に実現した。卒業生は業界で広く活躍しており、在校生に対して講師として貢献するなど、学校への還元意識も高まっている。さらに、全日本理容美容学生技術全国大会（理美容甲子園）にて、九州地区の養成施設では初の理容部門で金賞の日本一を受賞する快挙を達成した。今後は同窓生ネットワークの形成を通じて、キャリア支援や社会貢献の機会を広げていく。教育活動の見直しでは、多くのサロンによるデモ授業の実施により、現場意識と技術習得が進み、就職の早期決定にもつながった。また、新たな行事や課外活動を通じて、学年・役割を超えた交流が実現し、全人的な教育も充実した。教員の専門性向上のため、各種検定資格の取得を促進し、学務課の設置により教材開発や授業支援も強化された。さらに、オンライン環境整備や新校舎建設を進めるとともに、危機時対応体制やカウンセラー体制の充実も図り、持続可能な教育環境の構築を実現している。

《評価委員からの意見》

学生にとって目標を掲げて技術を磨き上げる日々の学生生活が大きな糧になると思う。更に大会などで日本一に輝く成功体験は必ず人生において強みになるのでそのような教育を今後も継続されることを期待している。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、人材育成像

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

学校創設以来の建学の精神である「真心をもってよしとする」を、当校の学生・教員・職員の教育がなされた姿とし、その人材育成像を実現するために「よく学び、よく遊び、いつも感動」を教育方針として、学生ひとりひとりが決意した「入学の目的」を達成するべく教育実践を行っている。教職員については、毎朝の朝礼において「建学の精神」、年度初めに決意した各々の「入校の目的」を唱和し、自律して目的に向かうよう自己管理を行っている。学生については、毎朝のホームルームでの「建学の精神」と「入学の目的」の唱和を行うことによって、高等教育機関でありながら、真心からのきめ細やかな躰指導の成果として、高校時代に欠席日数が過度であった学生が皆勤で卒業し、有名店に就職するなど、理念を具現化している。

課題としては、理念や行動規範を含めたソフトスキルの育成については可視化や腹落ちのしづらい部分が多いため、現代に生きる学生がセンスメイキングできる手法で伝え、2年間の学校生活を過ごす中で建学の精神や自己の新たな価値観を涵養していく必要がある。卒業生などに学校生活時代やこれまでのキャリアを振り返ってもらう動画を作成し、学校の中で伝えている重要な考え方や価値観が社会でどう生かされているかについて在学生及び入学前の希望者に伝える。創立 70 周年に向けて、建学の精神「真心を持ってよしとする」が、各々の人生を生きていくにあたってどのような影響があるかをインタビューを通して探っていき、理念のストーリー化を実施していく。

《評価委員からの意見》

引き続き注力していただきたい。

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

年度始めに基本方針を全職員に向けて発表し、基本方針をもとに各職員がそれぞれの役割に落とし込んだ目的を明確にし、目標を設定。毎朝のミー

ティングと週2回の責任者会議で進捗の報告を行い、月に一度実施の全体会議にて学則や寮則や各企画等の改善点を議論し、方針の達成に向けて取り組んでいる。技術の習得に関しては、定量的に測りうるため問題ないが、当校の育成された人材像を真に実現したことを示す成果が定性的であることが多く、定量的に測れないことが課題であるため、当校独自の評価指標を整理し、可能な限り正確な定量化の可能性を模索する。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし。

基準3 教育活動

学校関係者評価結果：適

《学校の取り組み状況・課題》

建学の精神、教育方針に沿いながら、教室内での授業による技能教育だけでなく、多彩な学校行事（ハリウッド校内コンテスト、サロンセミナー、体育祭、球技大会、バスハイク、卒業旅行など）を企画・実施し感性を育む教育を行っている。校外大会や校外イベントにも多数参加し、社会との繋がりを通じた教育活動や、理容師・美容師国家資格試験の内容だけではなく、幅広い理容・美容の知識・技術を習得できるようにするための多彩な選択科目を設け、卒業後即戦力として貢献できる人材の育成に勤しんでいる。

課題としては、昨今のテクノロジーの発達により学校所在地の制限を超えた学びの形を提供できるようになっているため、現在のデモンストレーション型の授業も含めてさらに拡充をしていく必要がある。今後は、技術向上のための校内コンテストにおいても外部の評価者に多数評価をいただくことで、校内のコンテストの質を向上させることができた。新しい技術の開発や業界の変化に対応していくために、サロン様との協力でデモンストレーション型の授業を多く開発することができた。ローカルとグローバル両輪で生きることができる人材を育成するために、地域に根付いた活動として「シニアファッションショー」や「キッズヘアーショー」を始め更なる地域を美容で活性化させるプロジェクト型の教育を行い、全世界で活躍する人材を育成するために、日韓ダブルライセンスプログラム及びグローバルビューティプログラムを普及させていく。

《評価委員からの意見》

地域に根付いた活動がマスメディアにも取り上げられ、新聞やニュースでも活動を見聞きする機会が増えた。大変喜ばしいことだと思う。今後も続けて欲しい。

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

2024 年度の美容師国家資格試験において、美容学科は合格率 96.9%、理容学科は合格率 100%と高い合格率を達成している。就職希望者においては、福岡はもとより東京や大阪など日本各地の名だたる有名サロンに就職するなど就職率 100%を達成。各種大会においては、全国理容美容学生技術大会全国大会の理容ワインディング部門にて金賞を受賞し、同部門において九州勢初の優勝を達成。POWER OF BEAUTY -進次代- 2024 において美容ワインディング部門にて GOLD PRIZE と BRONZE PRIZE を獲得し、トレンド着物フォト部門においては、GOLD PRIZE、SILVER PRIZE、BRONZE PRIZE の表彰台独占の快挙を達成するなど輝かしい成果をあげている。

課題としては、校外のコンテストの規模感が小さくなり、多岐にわたるコンテストが出てきているため、教育効果の高いコンテストを選別し出場する必要がある。学校主宰のコンテストを多数開催することで学生のモチベーション維持と自身の目的達成へのマイルストーンとなるように企画運営を行っていく。学校全体で、コンテスト賞数の目標をたて、対外的な場で技術レベルの確認ができるよう行っていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

奨学金の申請対応なども丁寧に行っており、学費の面でも特待生枠を広く準備している。寮費についても地域のオーナー様方の協力をいただき、安

心して生活できる費用でご提供いただいている。進路に関しても、就職率 100%を達成するなど就職先の企業様と連携して進路支援を行なっている。日常の学校運営における危機管理に関して、より高いレベルの危機管理を職員一人一人が担っていく必要がある。課題としては、学校外の生活における支援が過度になりすぎないように介入の程度を明確にして、適切なレベルでの支援を行えるようにする。危機的状況においても、カウンセラーを含めた学校内外の教職員及び関係者の協力の元で、学校経営及び運営において大きな支障がなく継続経営及び運営が達成されるよう、日常での訓練及び研修を実施し、危機管理意識を高める取り組みを実施していく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

毎年の設備投資により快適かつ高度な教育が行われるように教育環境を整備している。総敷地面積約 10,000 坪の広大な土地を活用し、3つの充実した校舎でのびのびと活動できる環境を提供。2022 年度の新校舎オープンにより、サテライトができたため BCP 対策として機能している。学校校舎の LED 化が全棟完了したことで、施設・設備の充実化が実施できた。課題としては、災害時の運用などを、危機管理ガイドラインを踏まえて細かく制度化していく必要がある。また、老朽化している施設・設備を、メンテナンス計画を立てて単年ではなく複数年で実施できるようにする。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

学生募集に関しては、2024 年度は九州・沖縄はもとより関東や関西を含めた全国から多数の学生が入学。入学者選抜においても、受験者全員に対して面接試験を行い、アドミッションポリシーに該当する候補者かどうかを

見極め、公正で適切な選抜を行なっている。課題としては、SNS を含めた様々な媒体を通しての認知向上が必要となる。社会状況の変化等により広報戦略の見直しが必要であるため改善を行う。全国的なインフレ傾向により教育費が高騰する中で、学費の増額の方法を検討していきたい。今後の取り組みとして、WEB 面接試験を含めた新しい選考方法を検討していく。

《評価委員からの意見》

引き続き注力していただきたい。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

財務基盤としては、安定的かつ継続的に学校運営を行なっていくために必要な流動資産を十分に蓄えている。毎年、教育環境の整備に必要な設備投資をしながらも次期繰越金が残るよう経営を行っている。当該年度については、一昨年度の特別な事象で継続して損失が発生しているが、教育活動の安定性には問題がない。課題としては、財務状況については問題ないが、長期的な視野の資産管理が必要であるため、長期的インフレの経済状況を見越した施策が必要になってくるため、安定的で確実な資産の運用を検討する。

《評価委員からの意見》

商工会議所という立場上、毎日色々な経営者と話をしている。無借金経営を継続していく難しさが分かるので、教育活動を行う機関がそのような安定かつ継続的に学校運営を行うことができる財務状況であることは大変立派であると思う。今後もその方針で進めて頂くことが良いと思う。

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

学校教育法および専修学校設置基準を始め関係法令や学内規定によってコンプライアンスに配慮した学校運営を行っているが、昨今の社会環境の変化による要請に応えることができるよう改善していく必要がある。学則及び寮則の見直しを行い、より現代的かつ教育効果の高いものへと改善を行

った。社会情勢に対応すべく、学内の諸規定等の見直しを行い、教職員ひとりひとりが実行をしていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 1 0 内部質保証

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

学校行事に多くの関係者に参加いただきながら質保証のためのご意見をいただいている。2024 年度もワーキングアカデミーコースの開始式には協力サロン様にご出席いただき、当該コースの目的とサロン様に求める役割を十分に認識いただくなど連携を図っている。地域の寮オーナーの皆様にもオーナー会を通して随時ご意見を頂戴し、様々な視点からの内部質保証のための取り組みを行っている。教育情報については、保護者様に対してメーリングリストアプリを活用し即時性のある情報の提供を行うとともに、高等教育機関としては稀な参観ウィークを設けて保護者様からのご意見をいただく機会を設けている。今後は教育内容を正確に評価するための評価制度の構築が必要と認識しており、自己評価を含め評価制度の見直しを行っていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 1 1 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

当校は開校以来、柳川地域の密着した活動を行っている。地域社会に対する還元として、学校周辺の美化活動などの実施するほか、エステコースの学生を主体として老人ホームやガン患者様のターミナル施設を訪問し、美容技術を活用したセラピーも行っている。さらに、地域の多くのイベントに協力参加し、社会貢献、地域貢献を実現している。学内に、ローターアクトクラブも設置し、メンバーとしてのボランティア活動なども行い国際貢献も実施している。地域の総合病院と幼稚園及び保育園の依頼で「シニ

アフashionショー」「キッズヘアーショー」、観光協会の依頼で、柳川観光のウェディング・ブライダル施策をもとにした観光客誘致の支援を行ってきた。但し、イベント参加の引き合いが多くいため、全てのイベントに参加することが困難となっている。地域のイベント等の日程を考慮しながら学校年間行事やカリキュラムのスケジュールを次年度以降考えていく必要があるため、地域の重要な医療を担う病院とのコラボレーションで、当校内でシニアアフashionショーを実施する予定としている。現在でも市内外から多数の参加希望をいただいております、大変期待をいただいている。地域から多大なる支援をいただいているため、学校としてより地域に貢献ができるよう企画立案を行い、実施していく。

《評価委員からの意見》

素晴らしい取り組みであり、是非今後も続けていただきたい。

基準 1 2 国際交流

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

当校は、韓国の美容専門学校 BBS グループと二十五年以上の姉妹校交流を行っており、BBS グループ研修団の来校の際には学生間の技術交流だけでなく、懇親会における文化交流も実施している。さらに、BBS グループを通しての韓国人留学生の受け入れも実施し、韓国人学生が日本の美容技術習得のために研鑽している。本年度 3 名の学生が韓国の BBS に留学予定であり、日韓ダブルライセンスの第一期生としてフォローを行なっていく。今年度は学生交流の相互渡航も再開し、韓国訪問団の研修も実施、当校学生の韓国での研修も実施できた。2025 年度は韓国の国際美容資格団体「GPF (Global Professional Artist Federation)」と連携し、当校内で国際大会の実施を予定している。アジアの 9 カ国の選手団が数百名規模で集う大会となっているため、当校からの出場選手選抜など世界基準のアセスメントが校内でできるよう準備を行なっていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし